国際政治経済学入門Ⅱ

科目ナンバリング　INR-102
【V】　選択　2単位

李　燦雨

1. 授業の概要（ねらい）

「国際政治経済学」は大変難しい学問ではないかという先入観があります。しかし、簡単に言えば、「国際舞台」での「経済」と「政治」の相互作用を研究する学問です。ここで経済は「市場」という言葉に、また政治は「国家」という言葉に置き換えることができます。すなわち、国際関係において市場と国家の関係性を考えるものと言えます。
本講義では、比較的に新しい学問である「国際政治経済学」の入門として、市場と国家の関係性から現れる安全保障、経済、人権、環境、開発援助、移民など様々な事象について、政治学的分析手法の基礎を紹介しながら国際社会に対する考え方を学んで行きます。

2. 授業の到達目標

①国際社会の政治や経済の現象から安全保障、貿易、人権、環境、国際体制などに関する諸問題について基礎的知識を修得する。
②国際社会における市場と国家のあり方について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点（30%）
期中課題レポート（20%）
期末テスト：試験と小論文（50%）

4. 教科書・参考文献

参考文献
野林健　『国際政治経済学・入門　第3版』（2007）　有斐閣

5. 準備学修の内容

各回の授業内容についてあらかじめ調査し1枚のレポートにまとめること

6. その他履修上の注意事項

この授業は、講義形式を中心としますが、受講者の主体的な参加を重視します。この授業で出る国際政治経済の諸問題について、質問や議論に積極的に取り組んでください。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション：政治と経済の論理
【第2回】　国際政治経済の見方
【第3回】　力の構造と国際経済体制
【第4回】　冷戦とブレトンウッズ体制
【第5回】　安全保障と経済
【第6回】　保護貿易をめぐる政治と経済
【第7回】　金融グローバル化の構図
【第8回】　科学技術と現代国際関係
【第9回】　移民をめぐる政治と経済
【第10回】　経済発展と人権、民主化
【第11回】　地球環境をめぐる政治経済
【第12回】　グローバル・レベルの国際秩序の模索
【第13回】　リージョナル・レベルの国際秩序の模索
【第14回】　国際政治経済学の将来、期末テスト
【第15回】　中間整理テスト（オンライン授業、11月12日）